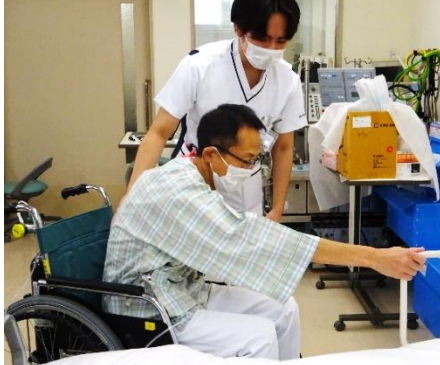


OSCE

～目指せ！看護実践力アップ～

新卒者60名がオスキー研修を受講しました。模擬患者を設定し、「車椅子の移動・移乗・移送」「酸素療法」「口鼻腔吸引」の演習を行いました。患者の状態・反応に合わせたアセスメント、看護技術の確認、患者とのコミュニケーションを学びました。演習後の振り返りでは、自己の到達度を確認し、技術を向上するための改善点を見出すことができました。



車椅子からベッドへの移乗では、酸素チューブが引っ掛からないように長さや位置を確認して、患者の安全に配慮したケアを実施しました。

体調を気遣った声掛けや患者へのわかりやすい説明を意識していました。



中央配管からの酸素送気と酸素ボンベの取り扱いを確認しました。



吸引の必要性を判断し、患者の苦痛を最小限にした効果的な吸引を意識していました。



演習後には、指導者、模擬患者と共に振り返りを行いました。部署での実践に向けて具体的に改善点を検討し、看護技術の再確認を行いました。



寝具の調整、履物の位置を整えるなど、環境整備に配慮していました。

